

ミュージアムの充実(福岡市美術館) 令和3年度事業実績

令和3年度寄付額 2,320,000 円



福岡市美術館は、水と緑に恵まれた大濠公園の中にある前川國男の設計です。昭和54年の開館以来、福岡市の文化芸術の振興と観光交流の拠点施設として、美術作品の収集、保存、展示、調査研究などの活動を続けてきました。

ダリやミロ、シャガールなど世界的な巨匠や黒田清輝、青木繁など九州出身画家の作品、さらに重要文化財を含む茶道具、仏教美術、旧福岡藩主・黒田家の美術品などを収蔵し、現在その数は約1万6千点にのびります。

また、平成31年3月にリニューアルオープンし、大濠公園園路に面したアプローチやカフェの新設、ミュージアムショップやレストラン、キッズスペースのリニューアルなど、より快適に気軽に楽しめる空間に生まれ変わりました。

令和3年7月には、福岡市制施行130周年および福岡市美術館の開館40周年を記念して制作された、インカ・ショニバレCBEによる大型屋外彫刻作品《ウィンド・スカルプチャー(SG)II》が設置されました。

令和3年度は114名の方から計2,320,000円の寄付をいただきました。本当にありがとうございます。アートの魅力を発信できるよういただいた寄付金により、美術作品を収集していきます。

みなさまからのあたたかい応援が美術館の魅力向上に繋がりますので、これからも宜しくお願いいたします。



インカ・ショニバレ CBE
(ナイジェリア/英国、1962生)
ウィンド・スカルプチャー (SG) II, 2021
撮影：山中慎太郎 (Qsyum!)

福岡市美術館事業管理課 (TEL 092-714-6055)